



from London



すっかりお馴染みとなった自転車通勤の風景

ロンドンにおける交通手段の「エコ化」

昨秋に COP26 を開催した英国では、環境問題への関心がますます高まっており、さまざまな環境対策の取り組みが進められています。当地ロンドンで生活する中で特に実感するのは、交通手段における「エコ化」の進展です。

ロンドンでは、交通渋滞や大気汚染がもともと深刻だったこともあり、自動車の使用やそれに伴う排出ガスを抑制する取り組みが進められてきました。最近では、市内中心部での自動車使用に対する「渋滞税」が引き上げられ (£11.5 → £15)、排ガス性能の低い車両に「通行料」(乗用車の場合で £12.5) が課されるエリアも大幅に拡大されました。

こうした中で、自動車以外の交通手段の活用が進んでいます。例えば、以前から普及していた自転車通勤は、コロナ禍のもとの自動車の交通量減少も追い風となり、一段と増加しています。

最近活用され始めたのが、e-scooter (電動キックボード) です。e-scooter は、既に一部の国で普及が

進んでいるようですが、当地では 2021 年 6 月に、ロンドン交通局がレンタルのトライアルを開始しました。同年 12 月現在、ロンドン全体の約 3 分の 1 の区がこれに参加しています。

このトライアルが始まってから、当地では、車道を走る e-scooter の姿をよく見かけるようになりました。自転車と比べると、ペダルを漕ぐ必要がないため、例えば出勤時に汗をかかずに素早く移動できる (最高速度は時速 20km)、といったメリットがあるようです。

もっとも、トライアル開始後の半年間で死傷者の発生事故が 9 件報告されており (2021 年 12 月現在)、安全面からの懸念を指摘する声が上がっているのも事実です。e-scooter がこうした課題をクリアし、ロンドンっ子の新しいグリーンな「足」として定着できるか。今後の展開が注目されます。

(日本銀行ロンドン事務所)

*本コーナーは海外で働く日本銀行職員または日本銀行からの出向者が執筆しています。



上 / e-scooter のレンタル・ステーション
右 / イングランド銀行近くの道を走る e-scooter

